

しみん基金・K O B E

NEWS

Vol.49

2019年12月号



認定 NPO 法人しみん基金・K O B E

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア 2 F) TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

しみん基金・こうべの役割について
感じていること

理事として2回目の公開審査会
が終わりました。プレゼンを聴き
ながらこの活動はどう発展してい
くのが理想だろうかというものを
考えるようになりました。私たち
はコミュニティ・ファンドとして
助成金を拠出しています。しかし、
毎年十分な金額が得られるか分
らないのに、助成金だけを頼りに
していると、その活動は継続が難
しくなるかもしれません。助成金
は、ヒト・モノ・カネ等の面で自律で
きる仕組みを整えるために、使わ
れるのが理想なのかもしれません。
また、助成金というかたちでの
協力だけでなく、提言というかた
ちでも市民活動をサポートできる
ように、智恵やチカラを蓄える
必要性も感じています。例えば、
常設のふれあい喫茶を開いている
活動には、喫茶の片隅でフリーマ
ーケットを行ない、活動費の一部に
充ててはどうかと提言してみると
か。権利として保障されるべきニ
ーズに対しては、私たちも一緒にな
って、行政に予算を確保させるとか。
私たちが集めるべき、提供すべきは
お金だけではないように感じます。
まだ理事に就任して日が浅いですが、
その分、しみん基金を客観的に
見られている面もあるかもしれま
せんので、感じたことを理事会で
議論できたらと思います。

しみん基金・こうべ理事

関本 英恵

(ろう)こう医療生活協同組合



2019年度公開審査会 /
第3回黒田裕子賞
平成30年度成果報告会

目次
ローリングストックinひょうご /
第2期市民ファンド推進プログラム、
24年日のひとりごと



2019年度しみん基金助成事業も例年通り7月16日から8月30日まで申請を受け付け、10月30日(水)神戸市青少年会館にて公開審査会を実施いたしました。

応募総数は26件(一般枠22件、特定枠4件)、9月の理事会での書類審査を経て14の団体にはプレゼンテーションを行う予定でしたが、大雨により中止となりました。一般枠の公開投票では、票が割れ、4団体での同点となり、再度その4団体で投票が行われ、結果的に左記の7団体の事業に助成することが決まりました。(一般枠5団体百96万5千円、特定枠2団体49万円)

最後に審査員長代行から講評として、草の根の活動でも、どれだけ波及効果が見込まれる活動を重視したと言われました。

また今年度の黒田裕子賞は、原発賠償関西訴訟原告団代表として当事者の声をあげ続けている、森松明希子さんに贈呈いたしました。

第3回黒田裕子賞を 森松明希子さんに贈呈

森松明希子さんは伊丹市のご出身で、東日本大震災被災後、当時0歳と3歳のお子さんを連れて大阪市内に避難されました。平成27年に当基金は森松さんが主催されている東日本大震災避難者の会 Thanks & Dreamの活動に



助成をしています。森松さんはその活動だけでなく、原発賠償関西訴訟原告団代表・原発被害者訴訟原告団全国連絡会共同代表も務めておられます。また「母子避難、心の軌跡」(かもがわ出版)を出版されたり、2018年にはスイス・ジュネーブ国連人権理事会でのスピーチ、参議院東日本大震災復興特別委員会で参考人として陳述されるなど、精力的に活動されています。

今回の受賞に森松さんは、「私たちは国内避難民です。先日亡くなられた緒方貞子さんは国内避難民にも支援の手を差し伸べられました。黒田裕子さんは被災者に最後の一人まで見捨てない支援をされました。お二人の女性のように私も今後も声をあげ伝え続けていきたい。」とお話しされました。

助成先団体紹介

<一般枠>

神戸映像アーカイブ
実行委員会
神戸市長田区

市民参加型アーカイブ活動の実践として、神戸映画資料館が保存する資料の調査や整理を専門性の高い知識を活用し、市民とともに行う。



(特活)ふおーらいふ
神戸市垂水区

フリースクールの子どもたちが地域の人たちとともに文化祭を実施することで、不登校に対する社会の理解につなげる。



下町レトロに首っ丈の会
神戸市兵庫区

商店街と連携し、高齢者と子どもの見守り、居場所、多世代交流の場づくりを行う。



I nterdisciplinary Art
Project Kobe (IAPK)
実行委員会
神戸市長田区

元町映画館と共催で、拡張現実 (AR) ワークショップを行うことで、アートに親しみ自己表現の場を作る。



(特活) ジャスミン
神戸市東灘区

福祉有償運送事業を地域と共に継続して実施する。



<特定枠>

被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」
神戸市北区

被災地へのボランティアツアーとともに神戸で写真洗浄会を実施する。



神戸大学持続的災害支援プロジェクトKonti
神戸市灘区

被災地での集会活動や対話型個人支援、広報誌作成地域活動の補助を行う。





平成30年度助成事業が1年間の活動を終え、12月4日(水)に神戸市青少年会館をお借りして成果報告会を開催しました。

この会は、各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄付提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有し、新しい気付きや学び、出合いやネットワークづくりのきっかけになることを目的として開催しています。

今年度も30年度の助成先である

- (特活) なこみ
- (特活) 支援の会ひまわり
- 音楽療法士グループりんんでんぼうむ
- (特活) 友之会
- (特活) ホザナ・ハウス
- (特活) そらしど
- 神戸・心絆

(ガリレオクラフインターナショナルは体調不良のため欠席)、2019年度の



助成先団体や市民のみなさまにご参加いただきました。7団体が事業内容やそれによる社会的成果、反省点、今後の事業展開、さらに事業継続のための財源確保の工夫等について発表され、それぞれ審査員や理事が、コメントや感想をのべられました。

続いて2019年度の助成先団体の自己紹介と活動紹介のあと、10月の理事会で決定しました特別賞を、長年1・17の竹灯籠での追悼行事を実施してこられた神戸・心絆に贈呈しました。

最後に津久井審査員長より「今年度助成団体も来られているので、今日の報告を聞いて活かせることがあればと思います。今日はつながりをつくるとい



目的もあり、当基金は触媒としての役割も持っています。支援を増やせるよう寄付がもつと集まり、三方良しの活動が広がっていくようみんなで頑張らしましょう。」とのお言葉がありました。そのあとは交流会となり、テーブルに用意されたお菓子とお茶を食べながら歓談の時間をもちました。



2019年度「中期計画をつくろう!」講座開講中

6年目となる今年も、10月24日(木)に開始し、来年2月末日に終了です。毎月1回の座学講座の内容に合わせて、その後月1回ペースでアドバイザーが複数で個別訪問する予定にしています。

過去5年間で累計18団体が受講されて、団体の運営を改善していくきっかけづくりに役立ったと、大変好評を頂いています。

今年度は、過去に受講した団体の中から、特に公的な支援を受けづらかったフリースクール2校を題材にして、これまでのこの講座の成果と課題を紐解き、最終的にその結果を小冊子にまとめる事業も、通常の講座と並行して行っています。

NPO法人への伴走支援は、近年の休眠預金活用の方策でも取り上げられ、これまでの設立の支援だけでなく、これからははぐくみ育てていく支援の手法として、脚光を浴びていますが、この小冊子でそのひとつの方法論としてまとめあげることが目指します。

今年度は下記の3団体が、受講中です。

- ・(特活) ホザナ・ハウス
 - ・一般社団法人ウルノス
 - ・(特活) FMわいわい
- これから約半年間の長丁場ですが、それぞれの団体にとってより良い計画づくりとなることを願っています。

■助成・ひようこポラン
タリー基金地域づくり
活動NPO事業助成



非常食を日常に ローリングストック inひょうご開催



真夏の日差しが容赦なく降り注ぐ、8月3日(土)の午後にみなどのもり公園で、これで4回目を迎える「ローリングストックinひょうご」2019を開催しました。今夏も、みなどうべ海上花火大会に合わせて行われている音楽フェス「カンバイKOBÉ」の会場内でブース出展する形式でした。

昨年度から「ローリングストック」についてのアンケート調査に応じてもらった人に、もちろん「ガチャガチャ」をしてもらい、協力企業から提供された保存食をプレゼントする、という企画で実施しています。「ガチャガチャ」が会場内でひとときは目立つ存在だったので、花火を見に来た親子連れのご家族にとっても人気で、今年も昼間から夜まで人波が絶えることがありませんでした。ただ、今年は去年と違ってスタッフをしっかりと揃えていたので、混乱することなく無事に終了することができました。お客様も昨年からのリピーターの方が多くおられました。特に子どもが大人より昨年のごことをよく覚えており、「ローリングストック」が少しづつ定着しそうです。アンケート集計をみても、年々少しずつではありますが、ローリングストックに対する認知度が上がってきており非常食(保存食)を常備している方も増えてきています。ただ、非常食(保存食)と聞いて一番に思い浮かべるものはカンパンが断トツで、

まだまだ「ある程度日持ちする食材を日常使いしながら備えるローリングストック」の意識には遠いようです。花火から帰って、ご家庭で「ローリングストック」のことを少しでも思い返して頂ければ幸いです。



開催概要

主催：ローリングストックinひょうご

実行委員会

(構成団体：神戸新聞事業社、認定NPO法人しみん基金・KOBÉ)

■後援：神戸市

■特別協賛：神戸防社

■協力：井上食品㈱、

ハチ食品㈱、㈱フェリスモ

㈱サタケ、KGF㈱、

エム・シーシー食品㈱

オリバーソース㈱

㈱防災備蓄センター

加藤産業㈱、ネスレ日本㈱

アルファアーツ㈱

生活協同組合コープこうべ

(特活)プラス・アーツ

(認定特活)フード

バンク関西

■助成：はあくとふる

ふあんど



第2期 市民ファンド推進 プログラムに採択されました

市民社会創造ファンドが実施されている、市民ファンド推進プログラムに採択されました。この助成事業には、2015年度も採択頂き2回目となります。今年度は助成事業を実施している16の団体の応募があり、当基金を含め5団体が採択され、10月16日に東京のSHIBUYA BARRAHOUSEでの、キックオフミーティングに参加いたしました。今年度助成団体の贈呈式、昨年度の助成団体の報告のあと「振り返る助成、市民活動のための評価とは？」とのテーマで研修があり、企業系の助成財団や全国の地域ファンド、NPOスタッフなどディスカッションを行いました。

この助成をいただいたことにより、2020年度に「寄付がつけられるひと 育てるまち tani matching」事業を開催できることになりました。今までのファンドレイジングパーティという面に、助成事業としての機能を強化する形で、来年度6月24日(水)に酒心館にて実施いたします。詳細が決まり次第ホームページやニュースレター等で告知いたします。



24年目のひとり言

～無言のコンパッション～

コンパッションとは、ラテン語由来の語で「苦しみとともにする」という意味である。ふつう「共感・同情」と訳されるギリシャ語由来のシンパシーと意味は同じであるが、シンパシーが一般に、苦しむ人への思いやりの意味でつかわれるので、ここでは「同じ苦難を経験した人」という、より強い意味を込めて、あえてコンパッションと言っておきたい。「他者の苦しみに思いをはせる」以上に、「他者の苦しみを苦しむ」ということ、他人の苦しみに傷つかずにはいないという意味を含ませて、中略くもし社会にぬくみというものがあるとすれば、きつとこのようなコンパッションという生地があつてのことだと思ふ。「他者の苦しみを苦しむ」という、人々の心の奥でひそかに息づいているそういう傷つきやすさが、社会に温かみをもたらす。ヘイトスピーチに決定的に欠けているのは、この感受性である。それは他者を深く傷つけるばかりか、こうした感受性を押さえつけることで、自身も住む社会の生地を傷めている。

これは、鷲田清一氏(元大阪大学総長、現せんだいメディアテーク館長)が神戸新聞に寄稿されたコラムの抜粋である。しみん基金・こうべも「無言のコンパッション」を持って、草の根の市民活動に寄り添い、そつと見守り、それぞれの団体の苦しみをともに苦しむ存在であり続けたい。

しみん基金・こうべ

専務理事

瀬戸口 仁三郎

会員数とご寄付のご報告

- ◆正会員 個人31名 団体2 団体
- ◆賛助会員 個人42名 団体16 団体
- (2019年11月末現在)

- ◆寄付・募金合計金額
94万2千2百60円

◆寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)

- 中島秀男、飛田雄二、高橋俊行、瀬戸口延恵、青本郁、益子克己、中谷豊、戸田香登、村井雅清、オレンジスリフティ、燗フルハウス、燗フルハウス技研、ヤフー(燗)、(有)ポックブックオフコーポレーション(燗)、白鶴酒造(燗) 匿名一名

(2018年6月～11月)

※皆様方からのご厚志に深謝致します。

クレジット決済もご利用頂けますのでご利用ください。当基金ホームページトップページの「クレジットサポーター」からアクセスできます！

Tポイントでもご寄付いただけます。

当基金ホームページのトップページにある

「Tポイントでキフ」からお願ひします！



「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間3千円
団体会員 年間1万円

お申し込みは電話・フアックス・メールなどでお名前・ご住所・電話番号をお知らせください。ホームページからクレジット決済も可能です。

★振込口座
三井住友銀行三宮支店

普通 8840183

みなと銀行本店営業部

普通 1969895

口座名義

「特定非営利活動法人しみん基金・こうべ」

近畿労働金庫神戸支店

普通 4161854

郵便振替

00990-5-57334

口座名義

「しみん基金・こうべ」

来年は
震災25年、当基金も

20周年になります。2月に

シンポジウムを予定していますが、

阪神・淡路大震災未経験の神戸市民が

再来年には半数になるんだそうで風化が

懸念されます。シンポジウムに是非ご参加お

願ひします。今年もご支援有難うございました。

よいお年をお迎えください。(〆)